

ブロックだより

東北ブロック総会(秋田県支部主催)

日大通信教育部校友ムな大会であったと思う。会長白戸忠志氏が、北上線相野々駅で下車され歩いて5分程のあいのの温泉鶴ヶ池荘(横手市内)へ笑顔で登場され、平成28年10月16日(日)13時30分〜17日(月)15時で秋田大会が始まった。

鶴ヶ池は、江戸後期の紀行家、菅江真澄も感嘆した風景はだれしも息をのむ。岸辺なる松の緑も影さして鶴も住むらし鶴の池水、

①秋田支部から5組の夫婦と5人、県外から8人と白戸会長の24人。宮城支部長二條氏の指揮で「日本大学校歌斉唱」ではじまりはじまり。歌の力のお蔭で、最後まで穏やかでアットホームな大会であったと思う。

②開会行事(30分)・ミニ山内巡り/バス移動で50分程・座談会(60分程)で、各支部の近況報告・自己紹介、全員笑顔が印象的。

③記念撮影(10分程)の後、



神成氏は、日大通教のお蔭で高校教師、退職後もお茶指導で学校へ。古田会頭や菅官房長官の通教時代の話を含めながら、日大の懐の深さ・大きさに感謝しこれからも恩返しをしたいとソフトな語りで強調。

⑤宴は、参加者から次々とカラオケ。白戸会長の焼酎、福島支部の矢吹氏からのブルーベリーワインの差し入れて効いて。

写真は、懇親会にて自前印刷で翌朝までに配布。

④休憩入浴タイムでスッキリ。いよいよ、懇親会&ミニショータイム。名物の「山内いもの(里芋)汁」をメインに秋を食しながら、会員スピーチ(佐藤昭二氏/枝豆出荷全国一ものがたり・神成典子氏/菅官房長官秘書話e.t.c.ものがたり)。聞き入る話であった。

今夏初のホームカミングデーで出演した校友が、再現ショータイム。

⑥2次会は、秋田美人団を除く多くが参加された。

⑦翌日は、横手近隣巡り(9時〜14時)。横手公園↓後三年合戦金沢史料館↓増田の蔵↓佐藤養助漆蔵史料館で稲庭うどんを食す↓果樹直売所↓鶴ヶ池荘で固く次回の青森会場での再会を誓いました。めでたし、めでたし。

⑧後日会員からのハガキから。

「山内の紅も深まり、自然・文化・歴史と行き届いたおもてなし、至福のひとつに感激あるのみ。又日本大学の奥深さ・優しさ、役員に皆様の貢献に感謝あるのみです。ご高配にお礼申し上げます。」

(文責 阿野 広美)

関東ブロック総会(茨城県支部主催)

平成28年度第37回関東ブロック総会茨城県大会が、平成28年10月16日(日)・17日(月)に茨城県ひたちなか市内のクリスタルパレスホテルにおいて34名の参加をえて開催いたしました。

総会は14時から赤津博茨城県支部顧問の司会で始まり、山田陽児茨城県支部幹事の開会のことば、白土昌夫茨城県支部顧問の校歌斉唱、主催者を代表して磯崎茨城県支部長のあいさつ、金子栄輔関東ブロック長のあいさつ、白戸校友会長(他のブロック大会へ出席



のため欠席の代読で鈴木勝副会長があいさつ、次に、議事に入る前に井上洋茨城県支部幹事を議長に選出しました。

第1号議案では各支部別に活動状況の発表がありました。

各都県とも会員の減少傾向や高齢化で苦労している様子でした。

第2号議案では金子栄輔関東ブロック長から活動状況について報告がありました。

第3号議案では鈴木勝副会長から本部活動報告がありました。

第4号議案は平成29年

東海ブロック総会(静岡県支部主催)

平成28年度の第19回東海ブロック総会は、浜松市のアクロスシティ浜松・研修交流センター405号室で、午後3時30分から実施の静岡県支部総会と講演会に引き続いて午後5時から開催しました。

出席会員は、愛知県・岐阜・三重の3支部長に静岡が支部長以下11名の計14名で、来賓は校友会本部から鎌子健副会長、大阪府から矢田健一郎副支部長のご出席を得、合計16名が出席しました。

杉山秀夫静岡副支部長の司会進行により、石川ブロック長、担当静岡県の後藤支部長、鎌子副会長の挨拶で会は始まりました。

鎌子副会長挨拶では

「山内の紅も深まり、自然・文化・歴史と行き届いたおもてなし、至福のひとつに感激あるのみ。又日本大学の奥深さ・優しさ、役員に皆様の貢献に感謝あるのみです。ご高配にお礼申し上げます。」

(文責 阿野 広美)

近畿ブロック総会(大阪府支部主催)

7月23日(土)千日前の「宴会場味園」で大阪府支部が幹事となり開催しました。校友会本部から金子栄輔副会長、東海ブロックから後藤正治静岡県支部長、地元の日大校友会大阪支部中礼思無哉支部長にご臨席を賜り、近畿の校友18名が出席して11時に開会しました。当支部矢田健一郎副支部長の司会により円滑に進行し議事は以下のとおり。

①各支部の活動報告
②当ブロックの活性化について
③次会開催担当は兵庫支部

度の開催都県に東京都支部が担当することが決まりました。

総会は山田陽児茨城県支部幹事の閉会のことばで終了しました。

休憩を挟んで健康体操を講師として桜井千春茨城県幹事(法56年度卒)の椅子に座って簡単な体操、体験発表を大和田勉茨城県副会長(商50年度卒)「頑張る努力すること」と題し講演がありました。その後、懇親会を行いました。

翌日は希望者で小雨の中、コキア等の綺麗な国営ひたち海浜公園、常陸那珂港、白亜紀層等を見学し帰途につきました。

(文責 磯崎 強)

中国ブロック総会(岡山県支部主催)

8月28日(日)、岡山後楽園の近く、旭川の岸部に接している岡山プラザホテルにて22名参加により中国ブロック総会が開催されました。

本部事務局長の瀬口邦夫氏、校友会副会長の師田袈裟茂氏、そして、近畿ブロック長の津村博文氏にもご参加いただき誠に有難うございました。

中国ブロックからは坂本ブロック長はじめ各県の支部長、そして、各会員の皆様、お忙しい中、ご参加いただき有難うございました。

総会は、物故者黙祷に始まり、予定通り進行しました。議事については

いろいろチャンスを大切にひとり一人のたゆまぬ努力を続けることになりました。来年は愛知県を担当です。

(文責 石川 貞夫)

四国ブロック総会(高知県支部主催)

13年ぶりに高知県で開催。四国ブロック総会は、9月13日に高知市の高知会館で開催されました。高知支部は休眠状態でありましたが、前四国ブロック長で、現愛媛県支部長山崎氏が、高知県の会員に会報を根気よく送付した結果、山崎氏の熱意に答えて数年前に支部が復活し、今般のブロック総会を主催するまでに発展しました。

会は、校友会本部より、山本副会長、坂本中国ブロック長、山崎愛媛、高橋香川、土井徳島、水田高知の四国4県の支部長が揃踏みし、田能高知支部長の司会で開始された。日大の校歌斉唱後、関

の交換を行いました。議案の審議を終えて閉会記念撮影の後、懇親会を開宴しました。遠来、来賓の方々からお立場上のお話しを頂くなど有意義に歓談しました。

宴会後は国立文楽劇場に移動して文楽を鑑賞しました。満席の夏公演「初日」演目は「薫樹累物語」と「伊勢音頭恋寝刃」の2幕でイヤフォンガイドを使用しての鑑賞は初めての方も演じる内容が理解出来たと好評でした。終演後は劇場ボランティアをされている岡持相談役から展示室について説明を受け文楽により親しみを感じてお帰り頂きました。

(文責 津村 博文)

告がありました。そして支部活動の問題点とその解決策、さらに本部からの支援策等について協議しました。それから、中国ブロック各支部から活動報告があり、今回は鳥取県で中国ブロック総会開催となりました。

次期中国ブロック長の候補として、島根県の坂本育穂氏を選出しました。

そして、記念講演は岡山市アムダボランティアセンターアムダの竹谷和子氏が「アムダの活動理念と緊急救援活動」と題して、具体的な活動を紹介されました。

その後、記念撮影をしてから、楽しい懇親会を過ごしました。

(文責 安藤 豊)

この問題の解決策として、次の4点が提案された。

一、全員を役員にする。

二、身近な支部会報を発行する。

三、支部総会を活性化させる。

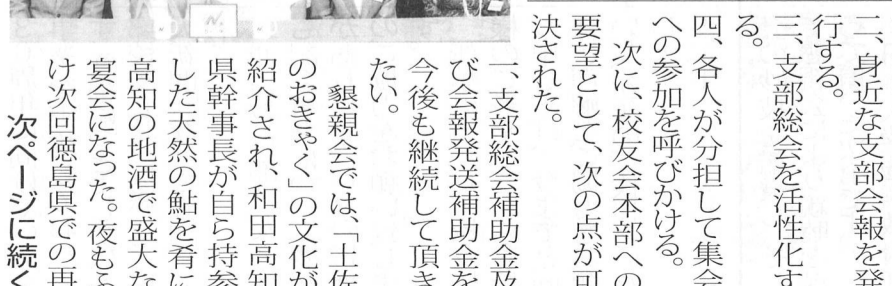
四、各人が分担して集会への参加を呼びかける。

次に、校友会本部への要望として、次の点が可決された。

一、支部総会補助金及び会報発送補助金を今後も継続して頂きたい。

懇親会では、「土佐のおきやく」の文化が紹介され、和田高知県幹事長が自ら持参した天然の鮎を肴に高知の地酒で盛大な宴会になった。夜もふけ次回徳島県での再

次ページに続く



四国ブロック総会